

【60用語】

客年（かくねん）…先年、前年

了知（りょうち）…さとり知ることに、知了

爾来（じらい）…尔来、それより後、そのとき以来

騰貴（とうき）…物価の高くなること、相場の上がること

漸次（ぜんじ）…だんだん、次第次第

如上（じょじょう）…上に述べたところ、上述

挽割麦（ひきわりむぎ）…石臼などで粗くひいた大麦、割麦

馬糧（ばりょう）…馬の食糧

徴発（ちようはつ）…他人から物を強制的に取り立てること

爾後（じご）…尔後、これから、今後、その後

際会（さいかい）…たまたま出会うこと

低廉（ていれん）…値段の安いこと

嗜好（しこう）…たしなみ好むこと、このみ

近時（きんじ）…近ごろ、この頃

【60解説】

明治三十年代後半からの群馬県は、毎年のように台風の襲来や大風雨・雷・雹などで大きな被害をうけた。こうしたなか明治四十五年（一九一三）七月三十日、明治天皇が崩御し、新たに大正時代の幕開けとなり、本県の人口も百万人を突破することになった。しかし、大正三年（一九一四）八月二十三日、日本はドイツに宣戦布告し、第一次世界大戦に参戦することになった。

一方、養蚕と商品作物の生産に支えられた大正期の本県は、農業県でありながら、主要食料の米の多くは移入に依存する状況であった。本文書は、国からの外米消費状況に関する調査に対し、本県の消費の現状や見込み量、そして今後の見通しなどについて回答したものである。これによれば、明治三十年代後半以降、たび重なる凶作などで大麦が欠乏し、価額の安い外米とりわけ台湾米の移入が増加傾向にあると記している。なお、大正期の県民の主食は大方、米に挽き割り麦を混ぜたものであった。